

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(平成25年度事業分)

1 施設の概要

施設名	山梨県立なかとみ青少年自然の里	所管課	社会教育課
所在地	南巨摩郡身延町平須306	設置年月日 (改築年月日等)	昭和62年6月1日
管理方式	指定管理者(身延町、平成18年4月1日～)		
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立青少年自然の里設置及び管理条例		
設置目的	自然の中で、集団生活を通じて自律、協同などを体験的に学習する場を提供すること。 主催事業の実施を通じ、自然の中でふるさとを愛するたくましい青少年を育成する機会を提供すること。		
主な施設内容 (定員等)	宿泊棟: 宿泊室(28人)×1、宿泊室(24人)×3、リーダー室(2人)×4 食堂(100人)、談話室(15人) キャンプ場: 炊事場、バンガロー2棟、テントサイト13箇所		
主な業務内容	利用の承認に関する業務 施設及び設備器具の維持保全に関する業務 集団生活を体験させる集団宿泊訓練に関する業務 地域における生活文化の経験学習に関する業務 野外観察、自然探求その他の自然に親しませる学習活動に関する業務 野外活動及びレクリエーションに関する業務 その他教育委員会が必要と認める業務		

2 類似施設・近隣施設

名称 施設内容 利用状況等	身延町立陶芸工房: 定員60名、和紙工房: 定員50人、体育館(505㎡) 山梨県立ゆずりはら青少年自然の里: 定員100人 山梨県立愛宕山少年自然の家: 定員150人 山梨県立八ヶ岳少年自然の家: 定員210人
---------------------	---

3 利用状況

単位: 人、%

		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度 (目標値)
利用者数	本館宿泊利用	6,448	5,702	5,466	
	キャンプ場宿泊利用	748	530	257	
	日帰り利用	1,184	1,262	1,168	
	利用者数合計	8,380	7,494	6,891	
	目標値	8,000	8,500	8,500	8,000
	目標値設定の考え方	過去実績から、震災・計画停電による4月以降キャンセル分を勘案し調整。	利用者が増加傾向にあった22年度程度まで伸ばすことを目標。	過去2年の実績が減少傾向にあることから、過去2年間の平均利用者数を超える事を目標とした。	震災以降の呼びかけに利用再開団体があった。キャンプ場利用拡大のためBS団体への呼びかけを行う事で昨年を上回る事を目標とした。
	対23年度比	100.0%	89.4%	82.2%	95.5%
	稼働率	42.6%	43.5%	39.4%	

4 収支状況

単位：円、%

		平成24年度	平成25年度 (計画値)	平成25年度 (実績値)	平成26年度 (計画値)
収入	施設利用料	0	0	0	0
	指定管理者委託料	29,292,000	29,048,000	29,048,000	29,924,000
	その他	0	0	0	0
	収入合計(A)	29,292,000	29,048,000	29,048,000	29,924,000
支出	人件費	14,421,000	14,695,000	14,209,587	14,784,000
	県への納付金	0	0	0	0
	管理運営費	14,871,000	14,353,000	13,698,648	15,140,000
	(うち外部委託費)(B)	6,640,000	6,654,000	6,369,178	6,905,000
	支出合計(C)	29,292,000	29,048,000	27,908,235	29,924,000
収支差額(A - C)		0	0	1,139,765	0
外部委託比率(B ÷ C)		22.7%	22.9%	22.8%	23.1%
利用者一人当りの経費		3,909	3,417	4,215	3,741

5 利用者満足度

実施方法等	実施時期：平成25年4月～26年3月、実施方法：県立なかとみ青少年自然の里利用団体へのアンケート、回答数：49団体
-------	---

単位：%

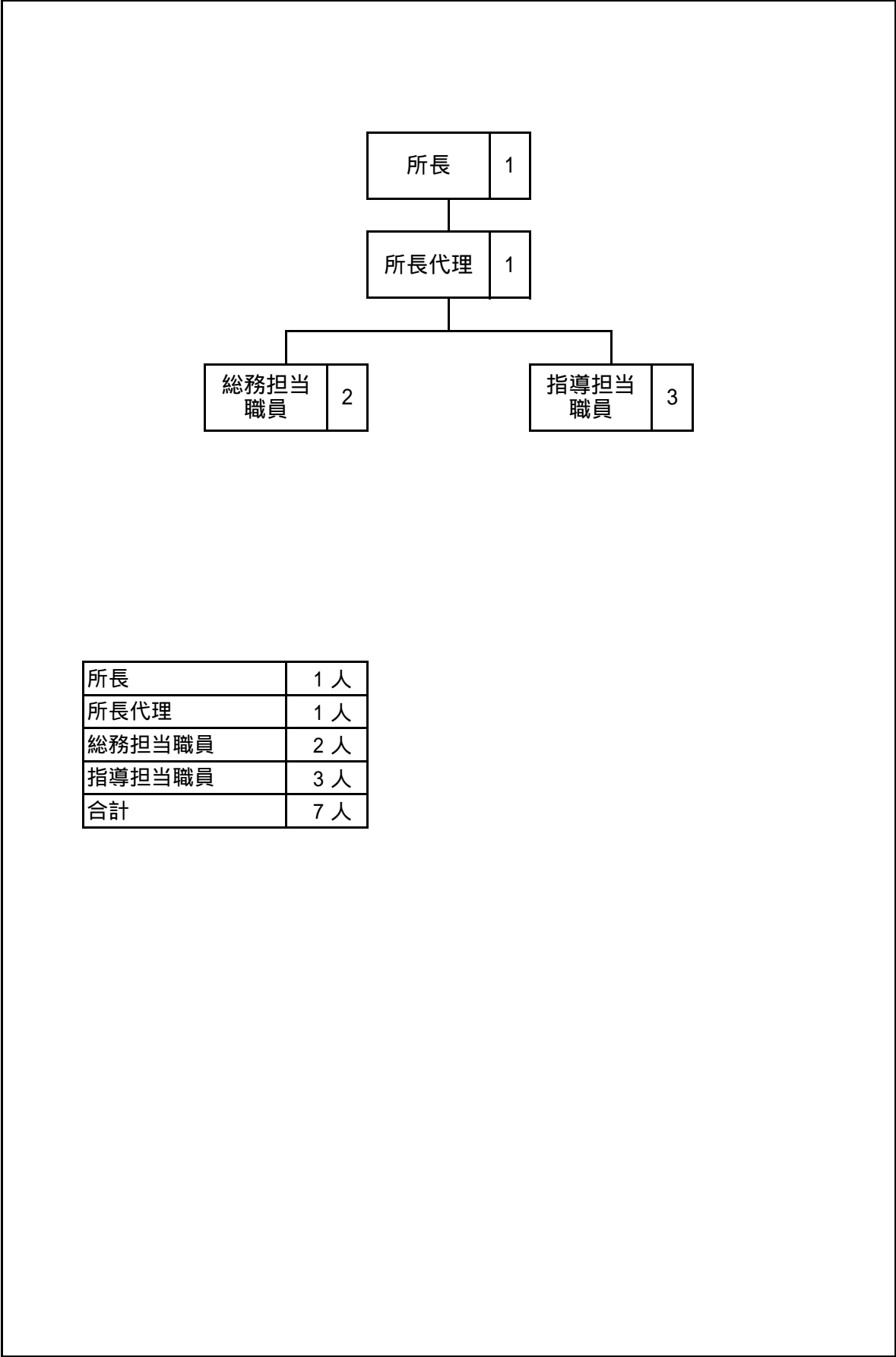
調査項目	満足・十分	普通・ どちらでもない	不満足・ 不十分	不明・ わからない
利用日、利用時間	90.0%	0.0%	4.0%	6.0%
利用料金	90.0%	0.0%	4.0%	6.0%
申し込み方法	84.0%	14.0%	2.0%	0.0%
設備・備品の状況	86.0%	8.0%	4.0%	2.0%
催物・事業内容	88.0%	6.0%	0.0%	6.0%
職員の接客態度	59.0%	21.0%	6.0%	14.0%
各項目の平均	82.8%	8.2%	3.3%	5.7%

利用者の意見	大型バスの乗り入れが大変。 飯盒が汚いので点検をしっかりとすればよい。 浴室の洗面器、腰掛のカビ。 食事のキャンセル発生日が早い。
利用者の意見への対応	5月大型バス駐車場を里から700mの距離に確保することができた。 飯盒を汚さないように指導を行った。 カビを取り除き乾燥しやすい配置に変更した。 利用日初日の一週間前から半額、食材準備の関係で妥当な日で設定している。

6 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	施設利用者が安全かつ快適に利用できるように常に点検を行い、必要に応じて修繕等を行った。食堂業務については、アレルギー対応を含め、利用者の要望に可能な限り応じるよう努めた。	維持管理については、きれいに管理され、利用者に気持ちよい場所を提供している。業務仕様書、業務計画書どおり適正に実施されている。
運営業務	日常では体験できない自然体験・生活体験・交流体験・創造体験・郷土食体験等を行えるよう、利用者への指導や支援及び食事の提供を行った。	主催事業については、幅広く利用してもらえるような工夫と努力はみられる。
自主事業		
利用状況	利用団体の数は、昨年度より6団体の減、宿泊棟1団体の減で、延べ数236人減。キャンプ場4団体の減で、延べ273人減。日帰り1団体減で、延べ94人減。宿泊棟、日帰りとも、1団体あたりの利用者数の減少がみられる。	全体を通して利用者の減少が著しい。魅力ある活動や事業をPRして、新たな利用者を増やしていく必要がある。
収支状況	電気料金の値上げにより光熱費が昨年を大きく上回る結果となってしまった。また、経年劣化による破損箇所が増えたため修繕費が大きく伸びた。2月の大雪で除雪用重機借上げ代が計上されたが、概ね計画通り執行することができた。	経費節減効果により、概ね計画どおりの執行となった。
利用者満足度	大型バス駐車場を里近くに整備したが、施設までのアクセスについて、道路が狭い等の改善を望む声はあった。今後も気持ちよく利用頂けるよう、全職員で努力していく。	施設までの道路の状況はやむを得ないが改善努力は行っており、全般的に満足度は一定の水準を維持している。
運営目標の達成状況	<p>H25 利用者数目標値 8,500人、実績6,891人 H25 主催事業参加者数目標値 450人、実績405人 利用団体の一団体当たりの利用者数の減少と、連泊が少なく多くの利用団体が1泊2日の利用となっている。主催事業は、悪天候のため4事業が中止となったため、目標人数に到達できなかった。チラシの配布先や配布方法の見直しを行い、今後も利用者への呼びかけを行いたい。</p>	
施設所管課による総合的な評価及び指導事項	<p>協定書、仕様書に基づき概ね適正な運営・管理が行われていた。大雪の影響もあり、施設利用者は減少したものの、利用者満足度調査では、一定の高い評価を確保している。</p> <p>昨年度、利用者の安全面について注意を促したアレルギー対策については、そば殻枕をすべて交換するなどの効果的な対応も見られた。今後も、主催事業等を工夫して実施し、経費節減にも留意しながら利用者増加に向けた運営が必要である。</p>	
施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況	<p>主催事業については、見直しを行い、より参加しやすい事業実施に努める。</p> <p>管理については、今後とも光熱水費等の経費削減に努める。</p> <p>キャンプ場利用の多いボーイスカウト団体への利用を呼びかけ、利用者増加に努める。</p>	

7 管理体制(組織図)



所長	1人
所長代理	1人
総務担当職員	2人
指導担当職員	3人
合計	7人